

第6次阿久比町総合計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

	意見（要旨）	意見に対する町の考え方
1	<p>白沢駅周辺には未就園児が遊べるような遊具のある公園がない。北原保育園は休園してから何年にもなるが、公園や広場にできないか。跡地の今後の利用について何か予定があるか。</p>	<p>第3章第1節『子育て支援』中の主要事業「施設の整備充実」で「保育園の適正配置」、「保育園園舎等の長寿命化及び施設整備」の記述があります。現在、北原保育園は休園中ですが、再開の可能性があるため施設を維持しています。また、今後の児童数の推移を考慮しながら、民間保育所の誘致など多方面から考え、あらゆる活用方法を検討していきます。</p> <p>第1章第5節『公園・緑地』中の主要事業「公園整備事業」で「公園用地の確保と整備」、「適正な公園の整備」の記述があります。</p> <p>白沢駅周辺を始め既成市街地や既存集落地においては、身近な公園が配置されていないため、地域間のバランスや地域住民のニーズに配慮した身近な公園の整備について、検討していきます。</p>
2	<p>生活道路がより安全で便利なものであるために、計画道路の進捗や実現性を考え、検討し見直すことも必要だと思う。また都市計画道路環状線沿線の道路整備について（側溝がない、道路の劣化が著明）はどう考えるか。</p>	<p>第1章第3節『道路・交通網』中の基本方針で「生活基盤の根幹である道路を安全かつ快適に利用できるように、計画的な幹線道路網の整備と安全面を重視した生活道路の整備を図る」の記述があります。</p> <p>道路整備の計画は毎年実施計画で進め、これからも安全、安心な道路の維持管理に努めていきます。また、都市計画道路環状線を始め、都市計画道路の整備実現に向けて、周辺の土地利用も含め、検討を進めます。</p>
3	<p>災害時等の一時避難所にもなりうる場所へは、マンホールトイレ、釜ベンチ、飲料水道など兼ね備えた整備が必要である。また高低差のある地域では災害時の課題が異なることからそれぞれの地域にあった地域防災計画が必要。学区での防災訓練も必要だと思う。</p>	<p>第2章第4節『防災・消防・救急』中の基本方針で「防災設備の計画的な整備をはかり、災害に強いまちづくりを進めます」と記述があります。</p> <p>災害時における避難所・避難場所の安全安心な運営のためには、平時より感染症対策や衛生対策をはじめ、それぞれが備えるべき設備の整備を推進することが必要と考えます。</p> <p>それぞれの地域にあった地域防災計画は同じく主要事業に「地域防災・減災力の向上」と記述があります。防災マップの更新等、実際の避難行動に資する内容になるように努め、ホームページや各戸配布等の様々な手法を活用し周知することが必要と考えます。</p> <p>学区での防災訓練は同節の基本方針に「自主防災会の活性化、地域と連携した防災訓練や学校での防災教育を通じて地域の防災・減災力の向上を</p>

		<p>推進します」と記述があります。あらゆる自然災害に対応できるよう住民、地域、行政などがそれぞれの役割を担い、連携することが必要と考えます。</p>
4	<p>休耕田、空き家などを活用できる工夫が必要である。借地権付きで貸し出すなど、国や県など利用できる事業ができないか。</p>	<p>第5章第1節『農業』中の基本方針で「農地の集積・集約化を進め、農業がしやすい環境を整えるとともに、耕作放棄地の対策をすすめます」と記述があります。主要事業「農業生産基盤の充実」に「耕作放棄地対策事業の推進」と記述があり、農地の貸し借りを仲介する愛知県農地中間管理機構などの活用を今後も推進します。</p> <p>また、第1章第2節『市街地整備』において、人口減少を見据えた地域特性を考慮した土地利用や安全・安心と快適性の高い市街地整備を進めるとともに、主要事業として「空家等対策事業」の推進を図る計画としています。</p>
5	<p>他市町からの利用も踏まえ、阿久比駅のロータリーの拡充と駐車スペースの確保ができないか。</p>	<p>第1章第3節『道路・交通網』中の基本方針で「駅前広場や駐輪場等の整備や公共交通機関周辺のバリアフリー化を推進するなど、安全・安心に生活できる形成につなげます」と記述があります。主要事業としても「公共交通機関周辺の整備事業」を掲げており、交通拠点として阿久比駅ならびに巽ヶ丘駅前の整備を検討します。</p>
6	<p>防犯カメラの設置場所が的確か、必要な場所にあるかなどの検証。徘徊者の発見ができるシステムを作ってはどうか。</p>	<p>第2章第5節『交通安全・防犯』中の基本方針で「住民の防犯意識の高揚及び自主的な防犯・地域安全活動の促進に努めるとともに、防犯施設などの整備・維持管理を図ります」と記述があります。その事業概要中には「防犯カメラの設置」として記述もあり、現状では警察からの要請を受け、位置などを検証しながら設置し、大字・自治会が必要と判断し設置した防犯カメラの設置費について補助をしています。</p> <p>また、第3章第3節『高齢者福祉』中の基本方針で、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるように、認知症の人や家族が安心して暮らせるまちづくりに努めます」と記述があります。</p> <p>徘徊者が発見できるシステムとして「高齢者おかえりサポート事業」があります。これは、認知症により在宅高齢者が行方不明となった場合に、早期発見、事故の未然防止のため予め役場に登録する事業です。</p> <p>登録した方にQRコード付きの「おかえりサポートシール」を配布し、</p>

		<p>このシールを衣類や杖に貼付していただきます。行方不明になった際、発見者がスマートフォンでこのQRコードを読み取ることで、発見者と家族が直接連絡を取り合うことができ、早期に対応することができることから今後もこの事業を推進していきます。</p> <p>防犯カメラを活用したシステムについては今後検討させていただきます。</p>
7	<p>歩道や特に通学路は景観的、安全性でも定期的に整備は必要である。草木の除去などを行政とともに、助成制度を創設するなど官民で行う事業ができるとういのは。</p>	<p>第1章第3節『道路・交通網』において「幹線道路から生活道路、歩道、自転車道まで、誰もが安全・安心で快適に移動できる」ことを目指す将来像とし、「計画的な幹線道路網の整備と安全面を重視した生活道路の整備を図る」を基本方針とした整備を計画しています。</p> <p>さらに第2章第5節『交通安全・防犯』中の主要事業の1つである「交通安全施設の整備」で危険個所の把握と施設整備を進めていきます。</p> <p>第6章第1節『パートナーシップのまちづくり』中の基本方針で「地域づくりへの人材育成を促進し、住民の参画を促す」とあります。いろいろな場面において官民連携事業を考え、住民参画を促し、地域社会が抱える問題を解決できる力を備えたまちを目指します。</p>
8	<p>縦割り行政を横軸に捉えられる人材の増員が必要。無料ボラ的な発想から、補助金投入し業務委託も視野に入れることはいかがか。また全世代交流ができる仕組みづくりが必要ではないか。</p>	<p>第6章第1節『パートナーシップのまちづくり』中の基本方針で「住民や地域、企業、学校などと行政がそれぞれの役割分担によるパートナーシップのまちづくりが進む仕組みを構築するために、時代に合った情報の共有化や地域づくりへの人材育成を促進し、住民の参画を促すとともに、まちづくり活動支援制度の推進を図る」とあります。住民・地域・事業者などと行政がそれぞれの役割と責任を果たし、得意とする能力やアイデアを出し合いながら協力することで、地域社会が抱える問題を解決できる力を備えたまちを目指します。</p>
9	<p>教員が子どもに関わる時間を確保するため、雑用の人員を地域で増員してはどうか。</p>	<p>第4章第1節『教育』中の主要事業の1つである「学校支援地域本部事業」において、「地域の教育力の低下や教員の勤務負担増加に対応するため、地域ぐるみで学校を支援する組織づくり」と記述があることからこの取り組みを進めていく考えです。</p>

10	子どもたちのICT教育の加速化と、年齢問わず情報共有できるよう各種団体に学習環境を作ることはどう考えるか。	<p>第4章第1節『教育』中の基本方針で「次世代を担う人材の育成に向け、“豊かな心と健やかな体”、“確かな学力”の育成を図る教育やICT教育、様々な社会情勢の変化に対応する先端技術を活用し、教育の質の確保を進めます」と記述があり、主要事業の1つである「国際化・情報化社会への対応」として「GIGAスクール構想に対応するICT機器の利活用」「情報モラル教育の充実」による取り組みを進めています。</p> <p>また、第3節『生涯学習』中の基本方針で、「生涯学習情報の提供と学習機会の充実を図るとともに、各年齢層に応じた活動機会を創出し、生涯学習活動を推進します」と記述があり、主要事業の1つである「誰でも参加できる学習環境の整備」として「ICT機器の活用による学習環境の整備」による取り組みを計画しています。</p>
11	災害時など、オンラインで繋がられるよう公共施設にWi-Fiの整備が必要と考える。また、行政と住民が相互で町内の情報交換ができる仕組みづくり	<p>第6章第1節『パートナーシップのまちづくり』中の主要事業の1つである「情報の共有化」で「ホームページ・SNS・アプリによる情報共有」「情報のオープンデータ化の実施・推進」による取り組みを計画しています。現在は役場庁舎と多目的ホールの2か所でWi-Fiが整備されています。その他の公共施設については検討が必要と考えます。</p>
12	行政の人員不足解消とIT活用で行政サービス向上を望む。	<p>第6章第5節『行政経営』中の主要事業の1つである「効率的な行政運営」で「機構改革、行政評価、指定管理者制度、民間活力の導入」「技術革新による業務の効率化」と記述があります。多様化する行政需要に的確に対応するため、適正な人員確保に努め、ICTの利用等による効率的な行政運営に向けた最適な手法を採用することで、行政サービスを向上させていきたいと考えています。</p>
13	基本目標へのブレイクダウンが、抽象的で基本計画に濃淡が感じられず、本町の特性が活かされた具体論に欠ける気がします。	<p>第6次阿久比町総合計画は本町の最上位計画として、「住民みんなのまちづくりの共通目標」「計画的な行政運営を進める総合的な指針」「広域的なまちづくりの連携や調整をしていく基本的な指針」の役割を踏まえ、「まちの将来像」や「基本方針」をまとめて、まちづくりの方向性を示したものとなっています。各分野においては、法定計画をはじめとする各種個別計画が策定されています。本計画内に個別計画のQRコードを掲載し、常に最新の施策等が確認できるよう工夫しています。</p>